

油や薬品の流出事故が多発しています

工場等からの油や薬品の流出により、河川・海や地下水を汚染させる事故が最近増えています。

事故によっては、大量の魚が死ぬ事案や、対策に莫大な費用がかかる事案もみられ、その原因の多くは、配管の腐食など施設の不適正な管理や給油作業時の不注意によるものです。

今一度、適正な施設管理や作業手順の確認の徹底をお願いします。

事故の事例

燃料や原料のタンクに接続されている配管の腐食により、亀裂や穴が開き、少量ずつ、油や薬品が継続的に流れた。



燃料や原料のタンクに補給を行っている際、現場を離れてしまい、オーバーフローを起こしてしまった。

燃料や原料のタンクに補給バルブを接続した際、完全に接続がされておらず、繋ぎ目から油や薬品が流れた。

防油堤にたまった雨水を排出するためにつけられている雨水バルブの管理方法を誤り、常時開の状態であったため、防油堤としての役割を果たさなかった。



燃料や原料を積んだトレーラーが交通事故でタンクを破損し、油や薬品が流れた。

敷地内側溝にあるグレーチング（金属製の網）の上をトラックが通った際、グレーチングが跳ね上がり、トラックの燃料タンクを破損し、油が流れた。

その他、不要になった油や農薬等を廃棄物処理業者へ引き渡さずに、側溝へ廃棄したなど。

事故を防ぐために！

作業時

- 燃料や原料の補給を行う場合には、その場を離れず、また絶対に目を離さない。
- 作業を行うときには、配管等を誤って傷つけないように注意する。

日常管理

- タンクや配管が腐食していないか、防液堤のバルブが正しい開閉状態になっているかなど定期的に確認を行う。
- 薬品の入ったタンク内残量をチェックし、入荷量と使用量の整合性を確認する。
- 施設管理や作業手順のマニュアル、万一の事故に備え、事故対策マニュアルを作成する。

その他

- 防液堤や油水分離槽を設置する。
- 不要になった油や薬品等は、許可を得た処理業者等に処理を依頼する。
- 雪囲いのときには、配管の場所が分かるよう目印を立て、除雪時に破損させないように注意する。
- 道路や駐車場において、グレーチングが跳ね上がらないよう固定する。
- 万一の事故に備え、オイルマット・土嚢などを準備しておく。

事故を起こしたときは！

- ・被害の拡散を防止するため、応急措置をとる。
- ・流出事故の状況に応じて、下記のいずれかに連絡する。

<連絡事項>

- ①発見した時間、発生した日時
- ②事故の内容と規模（発生場所、けが人の有無、河川等への流出の有無など）
- ③講じた応急対策

※報告を怠った場合、法律により罰せられることがあります。

○河川の管理者

福井県土木部河川課
河川管理グループ 0776-20-0480
国土交通省近畿地方整備局
福井河川国道事務所 0776-35-2661

○海の管理者

敦賀海上保安部 118

○危険物に関する関係機関

消防署 119

○公害防止に関する関係機関

各市町		
各健康福祉センター	福井	0776-36-1119
	坂井	0776-73-0601
	奥越	0779-66-2076
	丹南	0778-51-0034
	二州	0770-22-3747
	若狹	0770-52-1300

あなたの会社 事故防止の管理体制は大丈夫ですか？



福井県安全環境部環境政策課
連絡先 0776-20-0303

